

第3回まちづくり勉強会の様子

第3回まちづくり勉強会では、アンケートの結果や視察の様子を確認しました。意見交換では、これからの勉強会の進め方を話し合いました。その結果、まちづくりの目標とまちの将来像を設定し、そのあと、まちづくりの勉強や現地の確認を行うことになりました。



←2グループに分かれて、自由に意見を交換しました。積極的な発言が多く、有意義な勉強会になりました。



3月19日
米野公民館にて

意見交換後に各グループで話し合った結果を代表の人から発表していただきました。

H22年度のまちづくりは段階②へ進みます。

まちづくり勉強会

段階①

- まちづくりの意向確認
- まちづくりの勉強

段階②

- 現地の把握
- まちづくりの目標、将来像案の設定

段階③

- まちづくりの概略計画の検討

段階④

- まちづくりの計画検討

段階⑤

- まちづくりの事業計画の作成

問い合わせ先

・北名古屋市役所（西庁舎）建設部 都市整備課（担当：富永）
電話 0568-22-1111 FAX 0568-25-5533



※まちづくりについて、ご意見がありましたら、お気軽にご連絡ください

第2号

まちづくりニュース

平成22年4月発行
北名古屋市建設部都市整備課

昨年、地域の意見を取り入れてまちづくりを進めるために「徳重・名古屋芸大駅周辺まちづくり勉強会」が発足しました。第1回の勉強会では、アンケート調査の内容について検討しました。その後、第2回の勉強会では、江南市布袋駅周辺地区の視察、第3回の勉強会では、これからの勉強会の進め方について検討しました。

勉強会では、ワークショップという手法を用いて、まちづくりについて意見交換をしています。今後の予定としては、まちづくりの目標、将来像の設定、現地の確認、まちづくりの手法などについて意見交換を行う予定です。

アンケートの調査結果

住民のみなさんの意見を取り入れて、より地域の創意工夫を活かした個性あふれるまちづくりを進めるために、アンケート調査を実施しました。みなさん、お忙しい中ご協力いただき、誠にありがとうございました。



調査概要

●実施期間

平成22年1月8日（発送）～平成22年1月22日（投函期限）

●配布票数と回収票数

配布票数	回収票数	回収率
500	191	38.2%

調査結果の総括

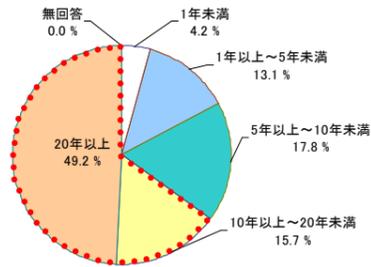
- 回答者の約7割弱が10年以上居住しており、約8割が自動車を主な移動手段としている。
- 回答者の約6割が住環境に不満を示している。
- 回遊できる、歩きやすいまち、景観の良いまち、商業施設が充実したまちが望まれている。
- 回答者の約8割がまちづくり構想の主要な事業を推進する必要性を示している。
- 回答者の約9割が住民もまちづくりに関与するべきとの意向を示している。

アンケート調査の主な結果

(設問) あなたはこの地区にお住まいになってどれくらいですか？

(結果)

	人	%
1年未満	8	4.2
1年以上～5年未満	25	13.1
5年以上～10年未満	34	17.8
10年以上～20年未満	30	15.7
20年以上	94	49.2
無回答	0	0.0
合計	191	100.0

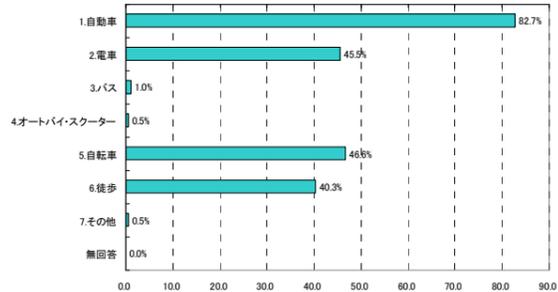


(設問) 日常生活において、あなたの主な移動手段は何ですか？(複数回答可)

(結果)

	人	%
1.自動車	158	82.7
2.電車	87	45.5
3.バス	2	1.0
4.オートバイ・スクーター	1	0.5
5.自転車	89	46.6
6.徒歩	77	40.3
7.その他	1	0.5
無回答	0	0.0
合計	415	217

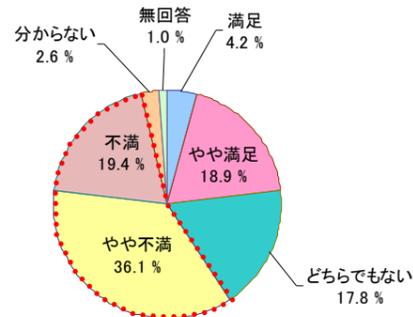
※合計は複数回答を含む



(設問) あなたは、徳重・名古屋芸大駅周辺の住環境(日頃生活していく中での住みやすさ)について、どのように感じていますか？

(結果)

	人	%
満足	8	4.2
やや満足	36	18.9
どちらでもない	34	17.8
やや不満	69	36.1
不満	37	19.4
分からない	5	2.6
無回答	2	1.0
合計	191	100.0



(設問) あなたは徳重・名古屋芸大駅周辺のまちづくりを行うことで、どんなまちになればよいと思いますか？

(結果)

回遊ができる、歩きやすいまち	71.2%
景観の良いまち	48.2%
商業施設が充実したまち	34.6%

(設問) あなたはまちづくり構想の主な事業の必要性について、どのように感じますか？

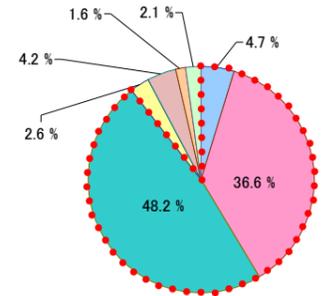
(結果)

まちづくり構想の主な事業の必要性についてどのように感じますか	必要	どちらかといえば必要
徳重・名古屋芸大駅周辺の整備【鉄道の高架化、駅前広場の設置、駐輪場の設置等】について	61.2%	20.9%
市街地を東西に結ぶ幹線道路のスムーズな移動を促進する整備【幹線道路の拡幅、右折帯や歩道の設置等】について	64.9%	24.6%
安全な生活道路(幹線道路を除く)の整備【狭い道路の改善、用水路等で分断された不連続な道路の改善、一方通行の解消、用水路の暗渠化等】について	56.0%	25.6%

(設問) まちづくりを進めていく上で住民と行政の役割分担についてどのように思いますか？

(結果)

	人	%
住民が主体となり行政がそれを支援すべきである	9	4.7
行政と住民が一緒になって進めるべきである(住民協働)	70	36.6
住民の声を聞き行政が主体で進めるべきである	92	48.2
行政主体で進めるべきである	5	2.6
現状に問題点はなく、まちづくりを進める必要はない	8	4.2
その他	3	1.6
無回答	4	2.1
合計	191	100.0



凡例

- 住民が主体となり行政がそれを支援すべきである
- 住民の声を聞き行政が主体で進めるべきである
- 現状に問題点はなく、まちづくりを進める必要はない
- 行政と住民が一緒になって進めるべきである(住民協働)
- 行政主体で進めるべきである
- その他
- 無回答

布袋駅周辺の視察の様子

第2回まちづくり勉強会では、住民と市が協働でまちづくりを進めている先進事例として江南市布袋駅周辺地区を視察しました。



←江南市役所から事業の説明を受けました。



地区内を視察しました。→



←名鉄線の中で最も古い駅舎の布袋駅を視察しました。住民を中心に駅舎の保存について検討されているそうです。



1月27日
江南市布袋駅周辺地区にて